



乳幼児の事故防止のポイント

	起こりやすい事故	事故防止のポイント
新生児～6か月	窒息	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんの周囲には、やわらかいぬいぐるみ、ひも、ビニールなどを置かない。 ・布団は固めのものを選ぶ。 ・うつぶせ寝はさせない。
	転落	<ul style="list-style-type: none"> ・抱いたまま転倒しないよう、安定した靴をはく。 ・ベッドの柵は、一番上まで上げる。 ・ひとりでソファ、イスなどに寝かせない。
	やけど	<ul style="list-style-type: none"> ・風呂やシャワーの温度を確認する。 ・赤ちゃんのそばで熱いものを扱わない。
7か月～1歳未満	誤飲・中毒 ・窒息	<ul style="list-style-type: none"> ・危険なものは赤ちゃんの手の届かないところにおく。 ・引き出しにはストッパーをかける。
	やけど	<ul style="list-style-type: none"> ・ストーブに安全柵をつける。 ・食べ物・飲み物をテーブルの端に置かない。 ・テーブルクロスをしない。 (ひっぱって、テーブルの上のものを落としてしまう。) ・台所に入れないよう柵などをつける。
	転落・転倒	<ul style="list-style-type: none"> ・階段や段差のあるところには柵などを付け、赤ちゃんが入らないようにする。
	溺れる	<ul style="list-style-type: none"> ・お風呂のお湯は抜いておく。 ・入浴時以外は、浴室のドアは閉めておく。 ・入浴時、水遊びのときは目を離さない。
1歳以上	転落・転倒	<ul style="list-style-type: none"> ・箱・家具など踏み台になるようなものを窓際やベランダに置かない。 ・ベランダの出入り口には鍵をかけ、子どもが出ないようにする。
	やけど	<ul style="list-style-type: none"> ・アイロン・ポット・鍋・ライターなどやけどの原因となるものは子どもの手の届かないところにおく。
	溺れる	<ul style="list-style-type: none"> ・お風呂のお湯は抜いておく。 ・水遊びのときは目を離さない。 ・浴室には鍵をかける。
	誤飲・中毒 ・窒息	<ul style="list-style-type: none"> ・危険なものは子どもの手の届かないところにおく。 ・食品の入れ物に、食品以外のものを入れない。 (ペットボトルに洗剤などを入れない。)
	交通事故	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の補助イスに乗せるときは、自転車ヘルメットをつけさせる。 ・手をつないで歩く。 ・子どもから目を離さない。

